

平成 23 年 7 月 12 日

ご投資家の皆様へ

T&D アセットマネジメント株式会社

「野村エマージング債券投信(通貨選択型)」の「毎月分配型」
2011年7月11日(第19回)決算の分配金について

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は弊社の投資信託に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社が運用しております「野村エマージング債券投信(通貨選択型)」(以下、「当ファンド」といいます。)につきまして、「毎月分配型」の各コースにおける2011年7月11日(第19回)決算の分配金を下記の通りご案内申し上げます。

今後ともお引き立てを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

第 19 期分配金 (1 万口当たり、税引前)

・毎月分配型

円コース	豪ドルコース	ブラジルリアルコース	南アフリカランドコース
50 円	85 円	140 円	95 円

「ブラジルリアルコース(毎月分配型)」の分配金引き上げについて

ブラジルにおいて、段階的な政策金利の引き上げが行われたことに伴い、米国との金利差が拡大しました。その結果、現在の基準価額水準や市況動向等を勘案し、「ブラジルリアルコース(毎月分配型)」における、第 19 期決算の分配金を下記の通り引き上げることといたしました。

・第 19 期分配金(1万口当たり、税引前)の引き上げ

	第 18 期実績	第 19 期
ブラジルリアルコース(毎月分配型)	135 円	140 円

毎月分配型の各コースにおける分配金水準は、今後も適宜見直しを行ってまいります。引き続きご愛顧賜りますようよろしくお願い申し上げます。

分配金額は、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。
 分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
 詳細につきましては「投資信託説明書(交付目論見書)」の「分配方針」をお読みください。

当期の運用経過

エマージング債券市場は上昇しました。債務再編への懸念などから軟調な展開が続いたギリシャなど欧州高債務国の債券とは対照的に、米ドル建てエマージング債券市場(JPモルガンEMBI グローバル・ダイバースファイド、以下「米ドル建て債」)は堅調に推移し(米ドルベース)、米国債に対するスプレッド(利回り格差)は大幅な縮小に転じました。

信用格付けの引き上げが引き続きエマージング債券市場の支援材料となりました。ブラジルの長期信用格付けがムーディーズによりBaa3 からBaa2 に引き上げられたほか、コロンビアの外貨建て長期信用格付けは、ムーディーズとフィッチ・レーティングスの双方から投資適格級に引き上げられました。フィッチはまた、債務削減計画を評価し、現在BBB-のハンガリーの信用格付け見通しを「ネガティブ」から「安定的」に引き上げました。

ポートフォリオは米ドル建てでプラスの収益率となりました。ウルグアイやメキシコの現地通貨建て国債の組入れなどがマイナスに作用したものの、ベネズエラやアルゼンチン、インドネシアの米ドル建て国債の組入れなどが奏功しました。

当月の投資行動では、ブラジルやメキシコの米ドル建て国債の追加購入などを行った一方で、コロンビアやペルー、イラクの米ドル建て国債の一部売却などを実施しました。

月末時点のポートフォリオは、国別では、トルコやアルゼンチン、ロシアやインドネシアなどの比率が上位となりました。

エマージング債券市場の先行きについて、短期的に慎重さを要する要因は依然として残っています。堅調な景気拡大により多数の新興国でインフレ圧力が高まっていることから、景気や資産価格上昇の過熱を抑えるため、多くの対応策を講じることがこれらの国の政府当局に求められています。しかしながら、こうした施策は、長期的には新興国の経済成長の持続性を支援する要因になると考えております。ポートフォリオでは、ロシアやメキシコ、ブラジル、インドネシアなど、旺盛な原材料需要による恩恵が期待される資源輸出国の現地通貨建て債に焦点を当てる一方で、資源を輸入に頼るトルコやウルグアイなどについては、インフレ連動債の保有などによりインフレリスクの回避に努めております。

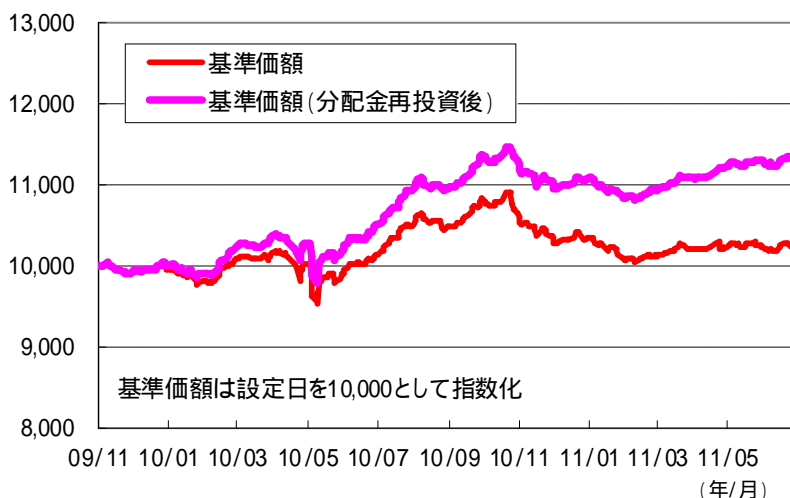
当ファンドの各コースが投資対象としている「エマージング・マーケット・デット・ファンド」(ケイマン籍円建外国投資信託)は2011年6月末現在でエマージング債券の組入数は121銘柄、債券の組入比率は93.4%となっております。

出所:キャピタル・ガーディアン・トラスト・カンパニー

基準価額の推移 (2009年11月17日(設定日)~2011年7月11日)

基準価額の推移は税引前分配金を全額再投資したものと計算しているため、実際の受益者利回りとは異なります。基準価額は信託報酬控除後です。

円コース(毎月分配型)



【直近5期の分配実績】

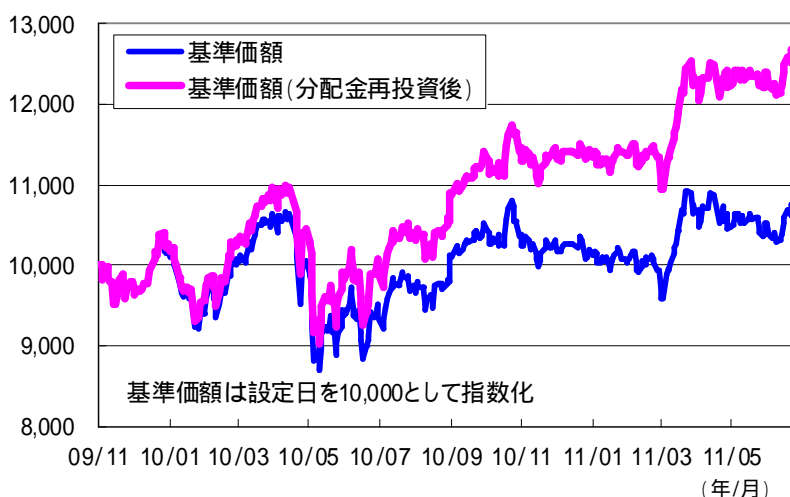
	決算日	分配金
第15期	2011/3/10	50 円
第16期	2011/4/11	50 円
第17期	2011/5/10	100 円
第18期	2011/6/10	50 円
第19期	2011/7/11	50 円
設定来		1,050 円

1万口当たり、税引前

2011/7/11

基準価額	10,241 円
純資産総額	48 億円

豪ドルコース(毎月分配型)



【直近5期の分配実績】

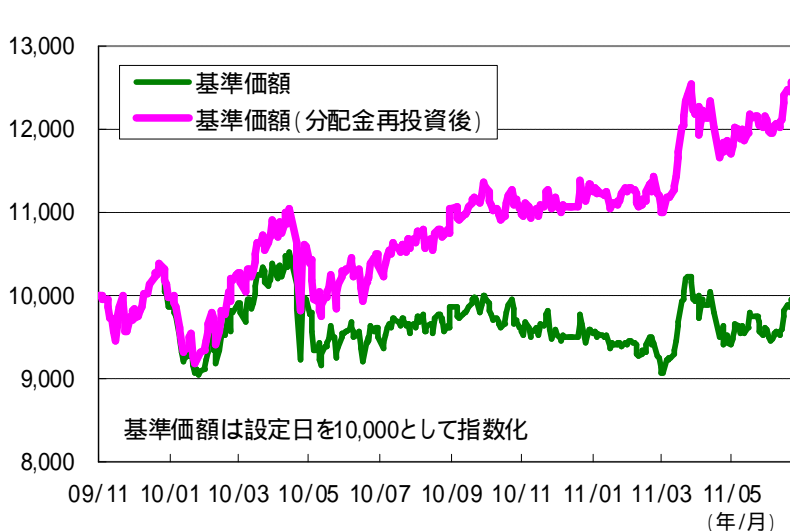
	決算日	分配金
第15期	2011/3/10	85 円
第16期	2011/4/11	85 円
第17期	2011/5/10	170 円
第18期	2011/6/10	85 円
第19期	2011/7/11	85 円
設定来		1,740 円

1万口当たり、税引前

2011/7/11

基準価額	10,576 円
純資産総額	94 億円

ブラジルリアルコース(毎月分配型)



【直近5期の分配実績】

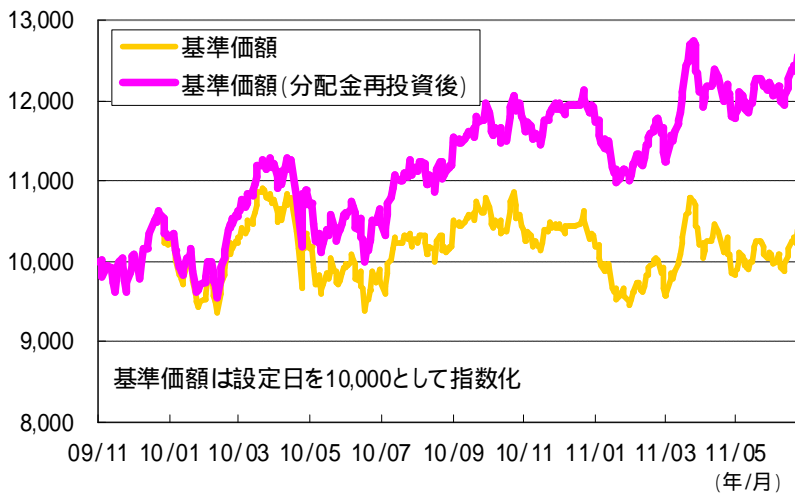
	決算日	分配金
第15期	2011/3/10	125 円
第16期	2011/4/11	135 円
第17期	2011/5/10	135 円
第18期	2011/6/10	135 円
第19期	2011/7/11	140 円
設定来		2,390 円

1万口当たり、税引前

2011/7/11

基準価額	9,698 円
純資産総額	1,399 億円

南アフリカランドコース(毎月分配型)



[直近5期の分配実績]

	決算日	分配金
第15期	2011/3/10	95 円
第16期	2011/4/11	95 円
第17期	2011/5/10	95 円
第18期	2011/6/10	95 円
第19期	2011/7/11	95 円
設定来		2,030 円

1万口当たり、税引前

2011/7/11

基準価額	10,193 円
純資産総額	9 億円

分配方針(毎月分配型)

毎月10日(該当日が休業日の場合は翌営業日とします。)に、原則として、以下の方針に基づき収益の分配を行います。

分配対象額は、経費控除後の配当等収益および売買益等の全額とします。

収益分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として配当等収益を中心に安定分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合があります。また、毎年5月および11月の決算時には、上記安定分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。ただし、必ず分配を行うものではありません。

収益分配に充てず信託財産に留保した利益については、運用の基本方針にしたがって運用を行います。

販売会社の名称等

販売会社		登録番号	日本証券業協会	社団法人投資顧問業協会	社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
野村証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号				

加入協会に 印を記載しています。

本資料は投資者に T&D アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

当ファンドのお申込みに際してのご留意事項

当ファンドの投資リスクについて

以下のリスクは、投資信託説明書(交付目論見書)に記載されているリスクを要約したものです。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

当ファンドに生じた利益および損失は、全て投資者に帰属し、投資元本が保証されているものではありません。また、収益や投資利回り等も未確定の商品です。投資にあたっては、以下に記載したリスク要因を十分にご理解のうえ、慎重にご判断くださいますようお願いいたします。

当ファンドの基準価額に影響を与える主な投資リスク

<各ファンド(マネープールファンド(年2回決算型)を除く)>

「金利変動リスク」「信用リスク(クレジットリスク)」「カントリーリスク」「為替変動リスク」

<マネープールファンド(年2回決算型)>

「金利変動リスク」「信用リスク」

当ファンドのリスクは上記に限定されるものではありません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時にご負担いただく費用

購入時手数料・・・購入価額に対して 3.15%(税抜 3.00%)

(マネープールファンドのご購入はスイッチングによる場合のみとします。)

スイッチング時にご負担いただく費用

スイッチング手数料・・・購入価額に対して 1.575%(税抜 1.50%)

(マネープールファンドへのスイッチングには手数料はかかりません。)

換金(スイッチングのための換金を含む)時にご負担いただく費用

信託財産留保額・・・換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対して 0.3%の率を乗じて得た額を、ご換金時にご負担いただきます。

(マネープールファンドには信託財産留保額はかかりません。)

ご換金手数料・・・ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬): 毎日、各ファンドの純資産総額に下記の率を乗じて得た額

各ファンド(マネープールファンドを除く)・・・年 0.924%(税抜 0.88%)

実質的にご負担いただく信託報酬率・・・年 1.674%程度(税抜 1.63%程度)

(信託報酬に、ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加えた概算値)

マネープールファンド・・・年 0.5775%(税抜 0.55%)以内

その他の費用・手数料:

【監査報酬】毎日、各ファンドの純資産総額に下記の率を乗じて得た額

各ファンド(マネープールファンドを除く): 年 0.0084%(税抜 0.008%)

マネープールファンド: 年 0.00525%(税抜 0.005%)

【その他】証券取引に伴う手数料等をファンドでご負担いただきます。これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。

当該手数料等の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。